

# 県議会だより

平成28年9月  
定例議会

## 平成28年度補正予算を可決

平成28年9月定例愛知県議会は、9月21日に開会し、24日間の会期を経て10月14日に閉会しました。その概要をお知らせします。



□公明党  
小島 文幸

### 1 財政運営

- (1) 県税収入の見通し
- (2) 今後の財政運営

### 2 支え合う地域づくり

- (1) 第16回全国障害者芸術・文化祭  
あいち大会
- (2) 小児救急医療体制

### 3 魅力ある地域づくり

- (1) ラグビーワールドカップ2019
- (2) 林業の振興

### 4 安心な地域づくり

- (1) 熊本地震を踏まえた地震防災対策
- (2) 愛知県警察の風水害に対する災害対策
- (3) 県民の安全安心を確保し、本県の強  
靱化を加速する社会資本整備の推進

### 5 活力ある地域づくり

- (1) あいち国際戦略プラン
- (2) 子どもの貧困対策 **詳細は下記にて**
- (3) 就業支援
- (4) あいちの教育

### 主な質問及び答弁内容

#### 子どもの貧困対策

**質問** 子どもたちが、貧困によって満足な教育が受けられず、進学や就職のチャンスを広げられなければ、「貧困の連鎖」が繰り返されることにつながりかねない。

本県では、平成27年3月に策定した「愛知県子どもの貧困対策推進計画」に基づき、教育の支援を始め、保護者や子どもへの生活支援や就労の支援などに既に取り組んでいるが、これまでどのように子どもの貧困対策を推進してきたのか、また、今後どのように推進していくのか、知事の所見を伺う。

**答弁** 県では、福祉部局と教育委員会など関係部局が連携し、スクールソーシャルワーカーの増員やひとり親家庭への支援の充実などに努めてきた。

今年度は、児童養護施設を退所して進学や就職をした方の自立を支援するため、家賃相当額や生活費を貸し付け、就職後5年間継続して就労された場合には、返還が免除となる貸付金制度を創設するなど、支援を強化しているところである。さらに、今後は、「愛知子ども調査」により、本県の特長や課題を明らかにしたうえで、そこに焦点をあてた実効性のある施策を検討し、市町村と連携をしながら、本県の子どもの貧困対策をより一層充実していきたいと考えている。